

アジアの都市の経験とノウハウを結集 ～東京都“アジア大都市ネットワーク 21”シンガポール総会～

都市の経済成長と環境政策の両立を目指して

東京都は、6月30日にシンガポールで開催されたアジアの大都市で構成する都市間ネットワーク「アジア大都市ネットワーク 21 (ANMC21)」の第 11 回総会に参加しました。

アジア大都市ネットワーク 21 とは、石原都知事の呼びかけにより 2001 年に設立され、アジアの大都市が連携して、危機管理、環境対策、産業振興、人材育成など共通の課題に共同で取り組み、その成果をアジア地域の発展につなげていくことを目的としたネットワークです。(詳細や過去の活動については、[自治体国際化フォーラム 257 号](#)及び[268 号](#)をご参照ください。)

総会には、各都市の首長などが出席し、東京都からは石原知事が来星しました。

シンガポール事務所では、事前協議の段階からシンガポール総会開催に係る東京都への活動支援を実施しました。ここに総会の概要と支援の内容を合わせて紹介します。



総会で挨拶する石原知事

シンガポール総会の概要

| | |
|------|--|
| 開催期間 | 2012 年 6 月 30 日 (土) |
| テーマ | [政策対話] 都市の経済成長、環境政策等の両立 ～都市機能を向上させるインフラの整備、持続可能な環境・エネルギー等～ |
| 会場 | マリーナ・ベイ・サンズ |
| 主催 | シンガポール国家開発省 |
| 参加都市 | バンコク、ハノイ、ジャカルタ、マニラ、ソウル、シンガポール、台北、東京、トムスク、ウランバートル (欠席：デリー、クアラルンプール、ヤンゴン) |
| 主な内容 | 新規加入都市の承認、政策対話、特別報告、共同事業報告、シンガポール宣言の採択他 |
| URL | http://www.anmc21.org/ (アジア大都市ネットワーク 21 公式ウェブサイト) |

都市が担う将来への責任

総会冒頭、石原知事は挨拶で「たとえ明日地球が滅びようとも、君は、今日リンゴの木

を植える」という詩を引用しながら、国際社会で先送りされている地球環境への対策につき危機感を訴えるとともに、「感染症対策などで目覚ましい成果が出ている」とアジアの大都市間の協力の意義と今後の可能性を強調しました。

その後行われた政策対話では、「都市の経済成長、環境政策等の両立」をテーマに東京を含む8都市から発表が行われました。開催都市であるシンガポールからは、6月末に新商業地区であるマリーナベイエリアにオープンしたばかりの大型植物園、“ガーデンズ・バイ・ザ・ベイ”について紹介があり、都心部に約 100ha もの土地を確保することは容易でなかったが、住民の目線に立ち、あえて商業施設ではなく、“緑地”を開発した意図などについて説明がありました。

また、東京からは、昨夏の電力不足に際しての対応や省エネルギー対策の取組状況などに関する報告がされ、今後も、低炭素・快適性・防災力を同時に実現する「スマートエネルギー都市」を目指す取組を推進していくことなどが述べられました。

その他、会員都市が連携して取り組んでいる「中小型ジェット旅客機の開発促進」、「ウェルカム・アジアキャンペーン」、「危機管理ネットワーク」、「アジア感染症対策プロジェクト」、「ジュニアスポーツ交流」等の共同事業について、各幹事都市から事業の成果について紹介があったほか、前ソウル総会でのソウル宣言を踏まえた「大規模災害への対応策の共有」について事務局から報告が行われました。

トムスクとウランバートルの新規加入と“シンガポール宣言”

今回の総会では、ロシアにおけるアジア圏の中核都市であるトムスクと、モンゴルの首都ウランバートルの新規加入が承認されました。設立以来、新規会員都市の加入は初めてで、これで会員都市は 13 都市となりネットワークの一層の活性化が期待されます。

総会の最後には、両都市の新規加入とともに、「経済成長に伴う環境的・社会的課題を克服するための知見、経験及び技術等を共有し、持続可能な都市づくりを進めていくこと」、「持続可能な開発の鍵となる都市の緑について、拡大を推進し見守っていくこと」などを盛り込んだ、シンガポール宣言が採択、署名されました。



シンガポール宣言に署名

「ANMC21 展」

ANMC21 総会に併せて、会員各都市のシティーセールスに関する展示と、民俗芸能などのステージパフォーマンスを行う「ANMC21 展」がそれぞれ3日間開催されました。

都市による展示は、シンガポール政府の主催でマリナー・ベイ・サンズで開催された、「世界都市サミット」エキスポ内に ANMC21 ゾーンを設置し、会員都市の開発計画や優れた企業技術の展示、観光 PR などを行いました。エキスポ会場は、連日多くの人出で賑わいをみせ、ANMC21 のブースにも世界各国からの訪問者が訪れていました。

また、ステージでは、東京、シンガポール、ジャカルタ及び台北のパフォーマンスが行われ東京からは、東京都認定の「ヘブンアーティスト（大道芸アーティスト）」が江戸独楽の曲芸や、童子と3メートルを超える物の怪との迫力あるパフォーマンスのほか、シンガポールで発足し活躍する人気の和太鼓グループも参加するなど、会議や観光で世界各地からマリナー・ベイ・サンズを訪れた大勢の人々を魅了していました。当地シンガポールからは、多民族国家ならではの、中華系、マレー系、インド系の民族共生をモチーフとしたパフォーマンスが行われるなど、参加各国からそれぞれ彩鮮やかなステージパフォーマンスが披露され、シンガポール随一の人気観光スポットであるマリナー湾が普段以上の賑わいに溢れていました。



ステージパフォーマンスの様子



ANMC21 の展示ブース

当事務所によるサポート

今回の開催都市であるシンガポールと、ANMC21 の事務局である東京都との開催に向けた事前調整は、今年の2月から本格的にスタートしています。当事務所では、都職員がシンガポールの関係機関を訪問する際のアポイントの取り付けや打合せのアテンド及び通訳者の手配等を行い、限られた現地滞在期間を最大限に活用できるよう支援を行いました。

また、東京都とシンガポール側との円滑なコミュニケーションをサポートするため、担当者との直の調整など、現地にいるメリットを生かした支援をする場面もあったほか、これらの会議や展示を円滑に進めるため、都代表団による綿密な事前の現地確認、導線確認などをサポートしました。多くの情報がインターネットで入手できる昨今ですが、現地事情に詳しく、土地勘のある職員によるしっかりとしたサポートが行えるのは、数々の自治体のアテンドで鍛えられている CLAIR ならではのサービスと自負しています。

この他、総会直前には当事務所の会議室や備品等、執務環境を提供したことにより、直前のデスクワークや打合せに非常に役立ったという感謝の言葉を東京都からいただきました。

これをお読みの皆様にも、「我が自治体の現地事務所があったらこんな風に使いたい」という視点で、CLAIR の海外事務所をどんどん活用していただきたいと思います。

おわりに

“都市の時代”といわれる 21 世紀の幕開けからスタートした“アジア大都市ネットワーク 21”、こうした日本の都市が参加する都市間ネットワークの広がりにより、国際社会でのイニチアチブを発揮するとともに、それを支える人と人との出会い、交流の場としても益々の発展が期待されます。

次回のアジア大都市ネットワーク 21 総会は、2013 年にベトナム・ハノイにて開催される予定です。

(小宮山所長補佐 東京都派遣)

